国立山口徳地青少年自然の家 教育事業



自然の家 de アウトドア DAY

令和5年9月18日(月・祝) 日帰り

【目的】

家族を主な対象に、自然の家の豊かな自然にふれあう機会やアウトドアを楽しむ機会を提供し、自然に親しむ心を育む。また、 家族が交流できる場を提供することを通して、体験活動や子育て等に関する情報提供や情報交換を図る。

【参加者】幼児を含む家族 17家族 68名

【プログラムの内容】

10:30 はじめの会・大型絵本の読み聞かせ

10:45 絵本のようなカステラづくり

13:00 森の子育て Café (大人) & 森のあそび場 (子ども)

15:00 イベント終了

はじめの会・大型絵本の読み聞かせ





大型絵本の「ぐりとぐら」の読み聞かせを行い、絵本に親しむとともに、カステラづくりへの活動意欲を高めた。絵本の話を真剣に聴く様子が見られ、読み聞かせが終わると、子どもから「カステラつくりたい!」という声が聞かれた。

絵本のようなカステラづくり





家族毎に薪割から始め、火起こし、カステラの生地作り、スキレットを利用してのカステラづくりを行った。兄弟姉妹で協力する姿や、保護者のサポートで挑戦する姿、出来たことに喜ぶ姿など、家族でアウトドアを楽しむ様子が見られた。



森の子育て Café (大人)





①西佐波保育園 園長 渡辺氏 ②山口大学教育学部附属幼稚園 副園長 高田氏 ③もりのこえん 理事 林氏・光永氏 4名の講師 をお招きし、話を聞いたり、講師への質問をしたりする時間を 通して、体験活動や子育てに関する情報提供を行った。

森のあそび場 (子ども)





竹水鉄砲や竹ぼっくり、サーキットやスラックラインなど、8カ所の遊びブースを自由にまわり、自然のものを使って遊んだり、体を動かして遊んだりした。親と離れ、ボランティアの学生や子どもたち同士で夢中になって遊ぶ姿が見られた。

【参加者の声】

- ・スタッフやボランティアの方が優しくアシストしてくれて、一つ一つの作業が終わるたび、「できた!」とキラキラした表情で、最後までやり遂げることができました。終わった後も、子どもたち同士で「カステラづくり楽しかったね」と話していました。
- ・子育てCaféも勉強になり、幼児教育について改めて考えることができ、とても有意義でした。

【成果】

5日間の募集で100名を超える応募があり、需要の高いキャンプの企画を提供することができた。参加者から「普段できない体験を親子ですることができた。」などの感謝の声が多くあり、家族でアウトドアを楽しむ姿が見られた。また、幼児教育有識者との連携により、子育てCaféでは、参加者の質問に答える形で情報提供ができた。

【課題】

当日が雨天となり、参加者数とプログラム内容と活動場所のアンバランスが生じた。ケガ等はなかったものの、安心安全で満足度の高い事業運営ができるよう、雨天時案も入念に計画しておく必要がある。